

# まな Viva!

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

## スタートカリキュラムの見直しを!!



各小学校において、既にスタートカリキュラムを作成、実施されているところですが学習指導要領改訂にあわせてスタートカリキュラムの見直しが必要となります。

## スタートカリキュラムとは?

幼児期の教育

学びの芽生え

遊びを中心として総合的に  
学んでいく。



スタートカリキュラム

小学校教育

自覚的な学び

各教科等の学習内容について  
授業を通して学んでいく。



幼児期の学びと育ちを  
円滑に接続するためのもの

## スタートカリキュラムをデザインする基本的な考え方

遊びを通しての総合的な学び（幼児期）

① 幼児の発達や遊びを理解する。

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえる。
- ・幼児の発達や学びの姿を把握する。

より自覚的な学び（幼児期）

② 期待する児童の姿を共有する。

- ・スタートカリキュラムで期待する児童の姿を明らかにする。
- ・実施期間を検討する。

③ スタートカリキュラムをデザインする。

- ・単元の構成と配列・・・生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を行うために単元配列表を作成する。
- ・週の計画と時間配分・・・児童の発達の特性や学びの特徴を踏まえ、短い時間で時間割を構成したり、ゆったりとした活動時間を位置付けたり、弾力的な時間割を設定する。



# スタートカリキュラムの見直し

# POINT

## <編成の前に>

- スタートカリキュラムの意義を理解できているか？
- 幼稚園・保育所等の教職員との情報交換はできているか？
- 全教職員の理解、協力体制はできているか？

全教職員で1年生を育てる意識が大切です。

「〇〇の使い方を知る」ばかりになっていませんか？

## <全体の内容について>

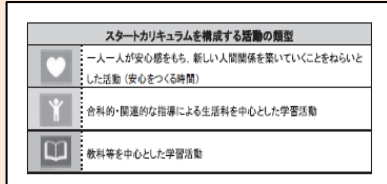
- 保育所や幼稚園での学び、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がいかされているか？
- 子どもたちに考えさせる場面はあるか？（子どもたちの主体性を大事にしているか）

## <単元配列表(例)>

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	いちねんがせい	よしのひ	はるのあそび	あつたふ	こぼれのなつ
算数	はらばら	くまのこ	10粒のかず	はなはな	いっしょに
生活	がっこうのいすき みんなのあそび				
音楽	みんながうたおう				
図画工作	すきなものをいっしょに	こぶしマフ	みんなのこぶし	ねんがで	すなやちん
体育	からだほろし	ゆらゆらあそび	おにあそび		
道徳	けいせいのあそび	みんなであそぶ	なまこ	いっしょにあそび	
特別活動	入学生	1年生をむかえる会			
	あらしのひ	たのしいあそび	おしごとたのしいな		

生活科を中心に合科的・関連的な指導を行っていくには、単元配列表が必須です。

※来年度の単元配列表は、南丹教育局HPよりダウンロードできます。



## <第2週の週案(例)>

日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日
月	4/10(月)	4/10(火)	4/10(水)	4/10(木)	4/10(金)
朝	「なつとあそび」	「なつとあそび」	「なつとあそび」	「なつとあそび」	「なつとあそび」
★	・お楽しみ会 ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	・お楽しみ会 ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	・お楽しみ会 ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	・お楽しみ会 ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	・お楽しみ会 ・お楽しみ会 ・お楽しみ会
★	「はらばら」	「くまのこ」	「10粒のかず」	「はなはな」	「いっしょに」
★	「はらばら」	「くまのこ」	「10粒のかず」	「はなはな」	「いっしょに」
★	「はらばら」	「くまのこ」	「10粒のかず」	「はなはな」	「いっしょに」
★	「はらばら」	「くまのこ」	「10粒のかず」	「はなはな」	「いっしょに」
★	「はらばら」	「くまのこ」	「10粒のかず」	「はなはな」	「いっしょに」

## <「週案(例)」を作成する際のポイント>

### ポイント 1

- 朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを位置付け、楽しい気持ちで1日がスタートするように1週間の時間割を計画する。
- 児童が安心して学校生活を楽しむことができるように、一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と、少しずつ内容が高まっていく発展性を意識する。

### ポイント 2

- 児童の思いや願いの実現に向けた主体的な学習がつながっていくように1週間の時間割を計画する。
- 生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行う。
- 思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなどの学習活動を位置付ける。

### ポイント 3

- 入学当初の児童の学習に対する期待感を生かし自覚的な学びにつなぐために、教科等の学びの時間を1時間の時間割に位置付ける。
- 児童の学習意欲が続いていくように、他教科等の指導の際に生活科との関連を意識する。
- 入学当初の児童の発達の特性に配慮し、10分から15分程度の短い時間を活用した時間割を構成したり、具体的な活動を伴う学習活動を位置付けたりする。

### ポイント 4

- 入学当初の児童の発達の特性に配慮し、午後の時間は具体的な活動を伴う学習活動を位置付ける。
- 1日の終わりには、明日への期待感を高める活動を設定する。

※裏面に掲載

## <参考資料>

- ★「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム～スタートカリキュラム導入・実践の手引き～」
- ★「スタートカリキュラムスタートブック」 2015年 2018年
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター 編著 ※HPよりダウンロードできます。



※カリキュラムは、夏休みや年度末等に見直し、児童の実態に合わせて毎年改善していく必要があります。

## ＜第2週の週案（例）＞

スタートカリキュラム第2週の週案（例）




		第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日		4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝		「なかよくなろう」※				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>安心をつくる時間</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>ポイント 1</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>ポイント 2</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>生活科を中心とした学習活動</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>ポイント 3</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>教科等を中心とした学習活動</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>ポイント 4</b> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・歌って踊ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・歌って踊ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・歌って踊ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・本がたくさん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・本がたくさん</li> </ul>
	2	「がっこうだいすき みんななかよし」 ・自己紹介をしよう (国「よろしくね」2/3) ・学校のはてなや びっくりを見付けよう (生1と1/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)  「くらべよう」 ・数を比べよう (算1/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)  「はるのあさ」 ・リズムに合わせて読もう(国1/3)	「がっこうだいすきな かよいっぱい」 ・遊具で遊ぼう (体「ゆうぐあそび」1)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)  「はるのあさ」 ・聞き合おう (国1/3)
			「はるのがっこう こんにちは」 ・春と遊ぼう (生2)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)	・見付けたものを数えてみよう (算「10までのかず」1)	「10までのかず」 ・絵を見て数えよう ・数字を書こう (算1)
		「あいうえおであそぼう」・ひらがな (国2/3)  「なかよしだいさくせん」 ・みんなでおいしく給食を食べよう		「はるですよ」 ・みんな生きている (道1)	「はるのあさ」 ・工夫して読もう (国1/3)  「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「からだほぐし」 ・二人、三人、みんな で遊ぼう (体1)
	5	「くらべよう」 ・数を比べよう (算2/3)  「みんなであうたおう」 ・知っている春の歌を歌おう (音1/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを作ろう (図工「はるとなかよし」1)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを飾ろう (図工「はるとなかよし」1)	「みんなであうたおう」 ・わらべうたで遊ぼう (音1)	

※の時間については、授業時数以外の教育活動として位置付けたり、各教科等で実施したりすることが考えられる。(各教科等で実施する場合には、学習活動がその教科等の目標や内容を実現するものである必要がある。)

# 左ページの週案（例）

## <第6日目>

児童の生活リズムや1日の過ごし方を意識して示したものの一部です。

第6日 4月〇日（月）			
時刻	類型	学習活動	○予想される児童の姿 ★環境の構成 ●教師の働きかけ
8:10 8:30 1時間目		<ul style="list-style-type: none"> <li>○登校する</li> <li>○ランドセルの片付けをする</li> <li>○宿題や連絡帳を出す</li> <li>○好きな遊びをする</li> <li>○朝の会</li> <li>○「なかよくなるろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・お話読んで</li> <li>・お話聞いて</li> <li>・歌って踊ろう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登校してからの手順が分かり、自分で朝の支度ができる。</li> <li>○新しい友達と歌を歌ったり、体を動かして一緒に遊んだりすることを通して、新しい出会いを楽しむ。</li> <li>●笑顔で迎え、登校したうれしさが感じられるようにする。まだ不安な心もちで登校している児童がいることに配慮し、先週までの活動を繰り返すことで安心感を高める。</li> <li>★朝の支度などが自分でできるように、目で見て分かる表示をする。</li> <li>★園で読んでいた絵本や、みんなで遊べる積み木、ブロック、粘土などを準備しておく。</li> <li>●「先生や友達と過ごすのは楽しい」と感じられるように、教師も一緒に歌ったり、笑顔を交わしたりして楽しい雰囲気をつくる。</li> </ul>
2時間目 3時間目		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「がっこうだいすき みんななかよし」</li> <li>・友達同士で自己紹介をする</li> <li>・先週ゲストとして出会った先生たちを探し出して自己紹介をし、質問をする</li> <li>・自己紹介の時の様子や見つけた「はてな」や「びっくり」を交流し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生たちに名前カードを渡して自己紹介をし、聞きたいことを尋ねたり、話をしたりする。</li> <li>●担任以外にもたくさんの先生方が見守ってくれていることが実感できるように、校長先生・教頭先生・保健室の先生・用務員さんなどとの関わりの場面をつくる。</li> <li>★児童が校内外を自由に探検できるように、全教職員に協力を依頼するとともに、児童とも学校探検のルールなどについて事前に確認をしておく。</li> </ul>
4時間目		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あいうえおであそぼう」</li> <li>・学校探検でお話した校長先生の名前の頭文字をきっかけにして言葉見付けをする</li> <li>・見つけた言葉を紹介し合う</li> <li>・「い」を丁寧に書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「い」のつく言葉見付けをし、それを交流したり丁寧に書いたり、これからの学習で使ってみることを考えたりする。</li> <li>●児童の「書いてみたい」「伝えたい」という思いがつながっていくように、ひらがなの学習も学校探検などに関連付けるようにする。</li> <li>★ひらがな学習を楽しく、そして見通しをもって学べるように、言葉見付けや見つけた言葉の紹介、リズム遊びなど、発達の特性を踏まえて一連の学習活動を設定する。</li> </ul>

1日の学校生活を、**学び手である児童を中心にデザインすることが重要！**